

まつばら歴史さんぽ vol.9

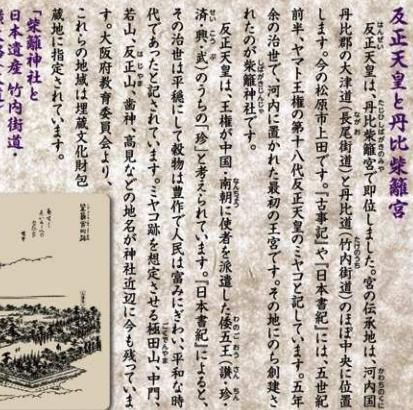
反正天皇 ゆかりの地紀行

丹比柴籠宮承赤地と柴籠神社(上田7丁目)



天保3年(1832)
「上田反正天皇が寄進した
「柴籠宮」の石灯籠
(柴籠神社境内)

「反正天皇柴籠宮址」碑
(柴籠神社境内)



「柴籠宮旧跡」
享和元年(1801)の
「河内名所図会」より。
江戸時代中期の柴籠
神社と同宮寺と神宮
寺である觀音寺(觀
音)が、左上は河
内郡山古墳、後圓
部に大塚社(天満
宮)を祀る。

『古事記』『日本書紀』に記された反正天皇

第1水歯御身の御身
第2正天皇
第3治比の柴垣宮に坐し
第4坐しまして天の下に治めたまひ
第5此の天里御身の長九尺二寸半
御身の長さ才六尺
分半下等しく
第6かひて、常に冰を貰ひて、かひなり。天皇、丸の許恭登臣の女、都忍那女
を娶して、生みませる御子、甲斐磐女神。次に都夫良御女。一柱又同じ臣の女、
弟比志を娶して、生みませる御子、財王。次に多阿井御女。并せて四王なり。
天皇の御年、陰治庚辰。丁丑の年の七月に崩御。是年、毛愛野に在り。

第7反正天皇
(反正天皇の系図)

瑞齒別天皇は、去来總別天皇(履中天皇)の同母弟なり。去来總別天皇の一
年に、立らで皇太子となりたまひ天皇、初め淡路宮に生れより。生れまし
ながら、畫と骨の如し。安芸美濃井の中に有り。而して、太子
を娶り、生みませる御子、財王。次に多阿井御女。并せて四王なり。
天皇の御年、陰治庚辰。丁丑の年の七月に崩御。是年、毛愛野に在り。

第8反正天皇
(反正天皇の系図)

反正天皇が祖木事が、水津野媛
を娶て、皇夫人となり。春火
秋火の月の甲辰の朔日酉に、
大宦臣が祖木事が、生
れたり。人、民富み
饑ひ、天下太平なり。是年、太
歲丙午。

第9反正天皇
(反正天皇の系図)

冬十月に、河内丹波に都づ
くる。是を柴籠宮と謂す。是
の時に當りて、風雨時に廟
て、五穀成熟れり。人、民富み
饑ひ、天下太平なり。是年、太
歲丙午。

第10反正天皇
(反正天皇の系図)

五年の春正月の甲申の朔
午に、天皇、正寝に崩御し。

第11反正天皇
(反正天皇の系図)

第12反正天皇
(反正天皇の系図)

第13反正天皇
(反正天皇の系図)

第14反正天皇
(反正天皇の系図)

第15反正天皇
(反正天皇の系図)

第16仁徳天皇
(仁徳天皇の系図)

第17順中天皇
(順中天皇の系図)

第18反正天皇
(反正天皇の系図)

第19安康天皇
(安康天皇の系図)

第20安康天皇
(安康天皇の系図)

第21雄略天皇
(雄略天皇の系図)

*「日本書紀」の皇統譜による。数字は代数。

第22雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第23雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第24雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第25雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第26雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第27雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第28雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第29雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第30雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第31雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第32雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第33雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第34雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第35雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第36雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第37雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第38雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第39雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第40雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第41雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第42雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第43雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第44雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第45雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第46雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第47雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第48雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第49雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第50雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第51雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第52雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第53雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第54雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第55雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第56雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第57雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第58雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第59雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第60雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第61雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第62雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第63雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第64雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第65雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第66雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第67雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第68雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第69雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第70雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第71雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第72雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第73雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第74雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第75雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第76雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第77雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第78雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第79雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第80雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第81雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第82雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第83雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第84雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第85雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第86雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第87雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第88雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第89雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第90雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第91雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第92雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第93雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第94雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第95雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第96雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第97雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第98雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第99雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第100雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第101雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第102雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第103雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第104雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第105雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第106雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第107雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第108雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第109雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第110雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第111雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第112雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第113雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第114雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第115雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第116雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第117雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第118雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第119雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第120雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第121雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第122雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第123雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第124雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第125雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第126雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第127雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第128雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第129雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第130雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第131雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第132雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第133雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第134雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第135雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第136雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第137雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第138雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第139雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第140雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第141雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第142雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第143雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第144雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第145雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第146雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第147雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第148雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第149雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第150雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第151雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第152雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第153雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第154雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第155雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第156雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第157雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第158雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第159雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第160雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第161雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第162雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第163雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第164雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第165雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第166雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第167雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第168雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第169雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第170雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第171雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第172雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第173雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第174雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第175雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第176雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第177雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第178雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第179雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第180雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第181雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第182雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第183雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第184雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第185雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第186雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第187雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第188雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第189雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第190雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第191雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第192雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第193雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第194雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第195雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第196雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第197雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第198雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第199雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第200雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第201雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第202雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第203雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第204雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第205雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第206雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第207雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第208雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第209雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第210雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第211雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第212雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第213雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第214雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第215雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第216雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第217雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第218雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第219雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第220雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第221雄略天皇
(雄略天皇の系図)

第222雄略天

反正天皇ゆかりの地紀行

～誕生・皇子期・治世・陵墓～

□誕 生 1~4 □皇子期 5~8 □治 世 9~14 □陵 墓 15~25



1 産宮神社 (兵庫県赤穂市松崎町)
反正天皇は、この神宮と第1回の
第三番札所として淡路宮(淡路島)
で生まれたと伝えている
(「日本書紀」)。産宮神社は、淡路
宮前に後妻・反正天皇を祭神として
して祀られる。境内に「反正天皇御誕
地」の石碑が建てられている。



2 瑞 井 (東京市涉谷区)
反正天皇が淡路宮で
生まれたといふ伝承
から、産湯に使用した
と伝える井戸である。井戸枠は
設えた舟形で、裏の石垣
は1910年(明治43年)造成された。
井戸枠は丸柱構造が建てた「瑞井」
の石碑がある。



3 潮清水 (高知県高岡郡佐川町)
産湯神社からは、倭文川へ
て所に反正天皇の産湯の井戸
(瑞井)が立る。井戸は潮水と
呼び、ここから湧き出た潮水で
またとて作られた六角舟をした
と傳わる。現在、六角舟
と呼ばれている。



4 「反正天皇旧址」碑 (羽曳野市市ヶ谷)
反正天皇は皇子時代、仁徳天皇
の崩御後、兄の履中次兄の住吉天皇
の位を争い、難波から上方に逃げ
た。河内脇舟(わきふね)とい
た船で、難波の海岸に夜宮
(よみや)と名づけた場所に夜宮
で泊まっている。現在、舟と船
の石碑がある。



5 綿谷稻荷神社 (羽曳野市市ヶ谷)
反正天皇は皇子時代、仁徳天皇
の崩御後、兄の履中次兄の住吉天皇
の位を争い、難波から上方に逃げ
た。河内脇舟(わきふね)とい
た船で、難波の海岸に夜宮
(よみや)と名づけた場所に夜宮
で泊まっている。現在、舟と船
の石碑がある。



6 祐德天皇御誕生地 (羽曳野市市ヶ谷)
反正天皇は皇子時代、仁徳天皇
の崩御後、兄の履中次兄の住吉天皇
の位を争い、難波から上方に逃げ
た。河内脇舟(わきふね)とい
た船で、難波の海岸に夜宮
(よみや)と名づけた場所に夜宮
で泊まっている。現在、舟と船
の石碑がある。



7 丹比柴籬宮址碑 (羽曳野市市ヶ谷)
反正天皇が皇子時代、仁徳天皇
の崩御後、兄の履中次兄の住吉天皇
の位を争い、難波から上方に逃げ
た。河内脇舟(わきふね)とい
た船で、難波の海岸に夜宮
(よみや)と名づけた場所に夜宮
で泊まっている。現在、舟と船
の石碑がある。



8 反正天皇御誕生地 (羽曳野市市ヶ谷)
反正天皇が皇子時代、仁徳天皇
の崩御後、兄の履中次兄の住吉天皇
の位を争い、難波から上方に逃げ
た。河内脇舟(わきふね)とい
た船で、難波の海岸に夜宮
(よみや)と名づけた場所に夜宮
で泊まっている。現在、舟と船
の石碑がある。



9 日光寺 (高知市市ヶ谷)
(高知市市ヶ谷)
産湯神社を鎮守と
した。飛鳥時代に聖天宗の祖
聖德太子が開創したと伝える。淨土
宗。



10 大和国瑞神社 (高知市市ヶ谷)
産湯神社の父である
仁徳天皇の5歳紀初
誕生日に、ヤマト稚神が瑞神第一の過
境として祀られたと考
れる。当社は、同地の「御井の
清水」と「瑞神」の名で、倭文川の
先駆である。



11 御井の清水 (兵庫県赤穂市市ヶ谷)
仁徳天皇が淡路宮
の産湯(清水)を汲んで
河内脇舟(わきふね)で難波高津
(現・高津町)まで運び、
それを御料水、「古事記」に記され
る。反正天皇の産湯宮生誕伝承の
先駆である。



12 松本神社 (羽曳野市市ヶ谷)
産湯神社で、御子の御井の
清水を祀る。御子の氏神、金剛
輪院は、天理御子の御子で、
反正天皇の宮辺に祀られた維谷白日
准也是、明治時代に松本神社に
合祀された。



13 金剛輪寺 (羽曳野市市ヶ谷)
反正天皇と仮宮の御子を祀りに
残した御院(1729~1815)が住
職をしていました。御院室、經堂が
ある。御院の松の木が植えられ
ていて、市名の由来となった「松
の木」である。観音堂前の無量寿
上位に五輪塔の覺対墓が記され
ている。



14 柴籬神社参道の松並木 (羽曳野市市ヶ谷)
柴垣方面から表
門に至る参道には
江戸時代以降、
「河内名所圖考」
にも載っている。
ついで、御院の松の木が植えられ
ていて、市名の由来となった「松
の木」である。松の木の名残りの
松が今も残っている。



15 飛鳥川の歌碑 (羽曳野市市ヶ谷)
覚対が反正天皇の宮殿の出来事
を河内の飛鳥川に託して詠じた
歌碑。江戸時代後半の歌碑で、
1610年(慶長15年)に飛鳥川のほとりに
建てられた。飛鳥村の立派な
本麻呂が詠んだ飛鳥川の歌
も記されている。



16 当岐麻糸の碑 (羽曳野市市ヶ谷)
反正天皇の元、尼中が聖位繼承
の争いの中、難波宮から大和へ
向かう途次、尼中が尼の手で新
経誦いて建てられた碑。歌碑が
文化11(808)年に建立した。反
正も尼中を追ってこの道を進つ
たと伝える。



17 反正天皇「産湯の井戸」
(兵庫県赤穂市小平町)
清水の井と名づけた井戸(兵庫県小平町)
反正天皇は、松本が含まれる河
内郡丹比(たひくひ)で生まれた
といふ伝承である。光明代まで
三重平原には、天皇家の陪都地と
される道場跡が設置された。当
社は、丹比の丘に創建されたと伝
える。明治時代に近くの日向神社
に合祀された。



18 正井殿 (赤穂市市ヶ谷)
正井殿は奈良藤原
(さざなみ)のさざなみのみ
のじとされ、尼中が聖位
の争いの際に奈良藤原に祀
られた。尼中は、尼の手で新
経誦いて建てられた碑。歌碑が
文化11(808)年に建立した。反
正も尼中を追ってこの道を進つ
たと伝える。



19 飛鳥川の歌碑 (赤穂市市ヶ谷)
覚対が反正天皇の宮殿の出来事
を河内の飛鳥川に託して詠じた
歌碑。江戸時代後半の歌碑で、
1610年(慶長15年)に飛鳥川のほとりに
建てられた。飛鳥村の立派な
本麻呂が詠んだ飛鳥川の歌
も記されている。



20 河内大屋山古墳出土の石材材
(赤穂市市ヶ谷)
神垣方面から表
門に至る参道には
江戸時代以降、
「河内名所圖考」
にも載っている。
句句は延宝7年(1679)発
刊の「河内名所圖考」に載せられ
ている。



21 丹比柴籬宮 (赤穂市市ヶ谷)
丹比柴籬宮は、丹比の名残りの
松の木がある。丹比の名残りの
松の木がある。



22 河内大屋山古墳 (赤穂市市ヶ谷)
河内大屋山古墳出土の石材材
(赤穂市市ヶ谷)
神垣方面から表
門に至る参道には
江戸時代以降、
「河内名所圖考」
にも載っている。
句句は延宝7年(1679)発
刊の「河内名所圖考」に載せられ
ている。



23 鹤舞神社 (大阪市中央区博労町)
神垣方面から表
門に至る参道には
江戸時代以降、
「河内名所圖考」
にも載っている。
句句は延宝7年(1679)発
刊の「河内名所圖考」に載せられ
ている。



24 反正天皇陵古墳 (大阪市北区北堀町)
反正天皇陵を祭神とする。当社は
反正天皇がミヤコ丹比柴籬宮と呼ばれて
いる。所在地名をもって、田出井
山古墳ともいわれる。古墳は古墳群
の一つで、その他の古墳は、平成
11年110m、後円部径76mの前
方後圓墳である。世界遺産に登
録されている。



25 方通寺社と向井神社址
(赤穂市北区北堀町)



26 方通寺社と向井神社址
(赤穂市北区北堀町)



27 方通寺社と向井神社址
(赤穂市北区北堀町)



28 方通寺社と向井神社址
(赤穂市北区北堀町)



29 方通寺社と向井神社址
(赤穂市北区北堀町)



30 方通寺社と向井神社址
(赤穂市北区北堀町)



31 方通寺社と向井神社址
(赤穂市北区北堀町)